

## 特許出願公告及び特許抜萃

### 特許公告抜萃

**鋼の酸化脱炭防止劑** (14年特許公告第2072號, 公告14-5-5, 關東州, 南滿洲鐵道株式會社) 鋼の表面に塗付し乾燥せしめたる上火炎中に於て熱處理を爲し又焼入を行ふ時鋼をして絶対に酸化脱炭せしめざる目的を以てマグネサイト又はアルミナの何れか1種又は兩者等量の混合物60~80%に石灰10~20%, 長石5~10%及アルカリ鹽5~10%を蜜和し糖分を含有せる有機物の飽和水溶液にて粘狀液となしたる鋼の酸化脱炭防止劑。

**マグネシウム又は其の合金の防蝕方法** (14年特許公告第2073號, 公告14-5-5, 東京市, 株式會社東京石川島造船所) 簡易に而も任意の個處に地金を少しも損する事無く適用し得又低温操作なる事及其の鍍着層の組織が緻密にして均一なる事に依り目的物の狂ひ若しくは寸法の擴大の恐れ無く而も甚だ防蝕力高き強固なる金屬の皮膜を形成しMg又はMgを主成分とする合金製品を有効に防蝕せんとする目的を以てMg又はMgを主成分とする合金より成る目的物又は其の所要部分に還元性火焰により金屬Ceを生成する化合物を還元性の火焰を通して吹付くる事に依り目的物の表面にCeの強固なる防蝕皮膜を形成せしむべくせるMg又は其の合金の防蝕方法。

**金屬焼入用油製造法** (14年特許公告第1990號, 公告14-4-28, 東京市, 森田均) 冷却性及安定性優れたる焼入用油を得る目的を以てステアロニトリル, パルミトニトリル, オレオニトリルの如き高分子量ニトリルを壓力下に於て加熱し分解し得たる混合物を酸性白土, 鹽化アルミニウム, 固體磷酸等の觸媒の1或は2の存在の下に重合せしめ次に之を冷却分別したる液體分を真空蒸溜して中間溜分を分取するか又はせずして金屬焼入用油を製造する方法。

**熔鑄爐に依るチタニウム含有砂鐵鑄の製鍊法** (14年特許公告第1991號, 公告14-4-28, 東京市, 日本製鐵株式會社) Tiの存在に基する高熔融點又は粘稠性大なる鑄滓の形成を阻止し爐底の隆起及爐底部側壁の狹窄等所謂ダーチー・ハースの支障を伴ふ事なからしめ合チタニウム砂鐵鑄の大量且工業的利用を可能ならしむる目的を以てTiを含有する砂鐵鑄を其の儘又は他の鐵鑄若しくは粘結劑と共に燒結し之をコークス, 石灰石, マンガン鐵石等と共に鑄鐵爐に装入し鑄滓中の石灰, マグネシア, 酸化鐵, 酸化マンガン, 鹽酸, 酸化チタン及アルミナをして 
$$\frac{CaO+MgO+FeO+MnO}{SiO_2+3/4TiO_2+1/2Al_2O_3}$$
 として1.0以下となし併かもCaO/SiO<sub>2</sub>の數値も亦1.0以下たるべき高酸性のものとなし爐内反應熔解帶の溫度を出銑として1,400°C以下1,300°C以上たるべく調節して操業するチタニウム含有砂鐵鑄の熔鑄製鍊法。

**煉瓦焼成窯** (14年特許公告第1996號, 公告14-4-28, 朝鮮, 吉田吉武) 煉瓦の連續的焼成中一方の焼成室より他方の焼成室に轉火する際に於ける火度を適當に加減し得べくし以て燃料の節約を計ると共に過燒煉瓦の生ずるを防止せんとする目的を以て互に連通して無端狀をなせる2個の焼成室の各一端に焚口を設けたる事を特徴とする煉瓦焼成窯。

**電熔型金屬噴射機** (14年特許公告第2115號, 公告14-5-10, 東京市, 江澤謙二郎) 齧合せるV字型凹溝間に金屬線を接持せしめて金屬線や給送中に左右にスリツプすることを絶體に防止せしめ

金屬噴射の際最も主要條件たる金屬線の給送速度を正確に調節し得しむると共に構造や堅密なる小型にして耐久力に富み且取扱ひ極めて便益にして高效率を以て操作し得る電熔型金屬噴射機を得んとする目的を以て壓搾空氣流により空氣タービンの廻轉を通して聯動齒輪機構並に金屬線給送齒輪を聯動せしめて金屬線を送出せしめつつ同時に火花放電により熔融せしめられたる金屬を分岐せる他方の壓搾空氣流によりて噴射嘴子の噴射孔より熔融噴射せしむる金屬噴射機に於て各齒の中央にV字形凹溝を備ふる上下一對宛の對應齧合せる二對の金屬線給送齒輪並に之等給送齒輪の下方の兩給送齒輪と匣軸的に裝架せる金屬線給送齒輪を驅動せしむるための齒輪を機匣内に裝着し且該機匣に附設せしめたる把柄内に空氣タービン並に此空氣タービンの廻轉に依りて聯動せしめらるる聯動齒輪機構を收藏し此聯動齒輪機構の聯動によりて金屬線を正確に送出し得べくなせる電熔型金屬噴射機。

**マグネシウム合金の防蝕方法** (14年特許公告第2135號, 公告14-5-10, 神戸市, 株式會社神戸製鋼所) 容易に且確實なる防蝕をなさんとする目的を以てMg合金鑄物又は壓延板の防蝕せんとする部分を186°C以上の溫度に加熱したる後其の上に耐蝕性を有しMg合金と良く合金する熔融點低き金屬又は合金を摩擦塗布することを特徴とするMg合金の防蝕方法。

**中空球體の鑄造裝置** (14年特許公告第2184號, 公告14-5-15, 熊本市, 草野義徳) 各部均齊の組織を有する中空にして繼目なき球體例へは鋼球の如きは勿論之他各種の開口部を有する又は有せざる球狀體若しくは椀狀體或は球面を爲さざる中空物體を極めて簡單且容易に得んとする目的を以て型體の中心か型體を支持する一軸と之を廻動せしむる主動軸との相交るべき點と一致する如くに該型體を一軸に裝着し之を廻動自在に支承せしめたる主動軸に適宜の廻轉を與ふることに依り該型體を同時に同心的にして且相違る二方向に廻轉すべからしめたる中空球體の鑄造裝置。

**輕合金製品鑄造用鑄型** (14年特許公告第2185號, 公告14-5-15, 東京市, 榊原郁三) 鑄造に際し鑄型内の排氣を妨ぐることなくして鑄出物に疣狀突出を形成せしめざることに依り緻密なる質にして且仕上の容易なる製品を鑄出せんとする目的を以て多數の排氣孔を設けたる金屬製鑄型の該排氣孔に於ける鑄面に接する部分を狹少ならしめ之に砂粒を凝結せしめて成る通氣自在の栓を嵌挿したる後之を管狀の止子を以て抑止せしめたることを特徴とする輕合金鑄造用鑄型。

**陰極飛唾法に依る鍍金法** (14年特許公告第2205號, 公告14-5-15, 獨逸國, ベルンハルト, ベルグハウス) 從來の方法に比し單位時間に遙かに多量の陰極飛唾を行はんとする目的を以て先づ陰極を加熱し爾後電氣エネルギーの供給に依る陰極の加熱と陰極の飛唾とを交互に斷續的に行ふ事を特徴とする陰極飛唾法に依る鍍金法。

**鉛電鍍法の改良** (14年特許公告第2206號, 公告14-5-15, 東京市, 日本化學工業株式會社) 親水性膠質と脂肪屬オキシ, デカルボン酸或は脂肪屬オキシ, トリカルボン酸或は其のアルカリ鹽との共同作用により陽極上の酸化鉛の生成を極度に防止し同時に陰極上に樹狀鉛の析出することなからしめ平滑且均一に密着せる厚鉛鍍層を電流效率高く鍍金せしむる目的を以て硼非化鉛又は珪非化鉛若しくは兩者の混合物を電鍍浴として鉛を電鍍するに當り親水性膠質物と脂肪屬オキシ, デカルボン酸又は脂肪屬オキシ, トリカルボン酸若

くは其アルカリ鹽とを1種若くは2種以上を添加する電鍍浴たらしむることを特徴とする鉛電鍍法。

**電鍍式錫鍍鐵板製造法** (14年特許公告第 2208 號, 公告 14-5-15, 東京市, 高砂鐵工株式會社) 錫電鍍層の壓展に適したる溫度に於てロール處理を施すことに依り電鍍法を利用して經濟的に平滑にして光澤ある優良の錫鍍鐵板を製造せんとする目的を以て電鍍錫引鐵板を 102~106°C の溫度に於て押壓ロール間を通して板の壓扁艷出を行ふことを特徴とする電鍍式錫鍍鐵板製造法。

**保護被覆層を有する金屬板の製造法** (14年特許公告第 2209 號, 公告 14-5-15, 北米合衆國, エッチ・エッチ・ロバートソン・コンパニー) 簡便なる連續操作に依り金屬板に低熔融金屬より成る中間層を介して纖維物質の被覆層を鞏固に密着せしめ且該纖維質被覆層にアスファルト乳劑を浸透凝着せしめ更に外面に瀝青質物の厚き層を形成せしむることに依り保護被覆に良好鞏固なる防水及耐濕性を與へ電氣絶縁性を増し剝離を防ぎ以て此種保護被覆を有する金屬板の製造能率を増進し優秀なる製品を提供すべからしめんとする目的を以て銅、鐵の如き腐蝕性金屬板の表面を Zn, Sn, Cd, Pb, 又は此等金屬の合金の如き低熔融性金屬の中間接着層を媒介としてアスベスト・フェルト, ウール・フェルトの如き纖維物質の被覆層にて被覆したる金屬板を基板とする保護被覆層附金屬板を製造するに當り先ず金屬板を亜鉛其他の低熔融性金屬を熔融せる鍍着槽中を通して熔融金屬を金屬板の外面に鍍着し次て該鍍着金屬が凝固せざる間に別に封函中に容入し在る纖維物質 (アスベスト・フェルト, ウール・フェルト等) の捲ロールより連續的に除濕しつつ供給せらるる纖維物質を前記金屬板の両面に壓着的に給附し之を其のまま一方に搬送しつつ自然冷却により中間金屬層と纖維物質とを鞏固に密着せしめ次に引續きアスファルト乳劑を混入したる浸漬槽中に連續的に通入し纖維物質に遍く該乳劑を浸透せしめ (要すれば壓搾ロールを通じて過剰の浸漬劑を排除したる後) 更にピッチ及アスファルトの組成物の如き瀝青質物の熔融せるものをロールに依り外面に塗布し其のまま放冷凝固せしむる前記各工程の結合を特徴とする保護被覆層を有する金屬板の製造法。

**亞酸化銅整流片生成法** (14年特許公告第 2210 號, 公告 14-5-15, 東京市, 日本電氣株式會社) 整流片に亞酸化物を生成せしむるに當り上記弗化物の作用に依り亞酸化銅膜表面の部分非化物中に熔解除去せしめ以て整流片の抵抗値を減少せしめ其の電氣的性質を良好ならしむる目的を以て熱處理に依り亞酸化銅を生成せしめたる整流片を約 1,020~1,080°C に於て熔融状態を保つべき非化物又は之を該溫度に於て熔融せしむる如く適當なる物質により稀釋したる混合物の熔融體中に導入し該物質を被着作用せしめたる後冷却する如くしたる亞酸化銅整流片生成法。

**電氣探鑛法** (14年特許公告第 2224 號, 公告 14-5-15, 東京市, 逓信大臣) 自發的成極電流源に依らず鑛石體等の位置を正確直接的に發見する目的を以て, 調査せんとする地域の表面上又は該地域に穿てる掘鑿孔中に固定電極を設置し之等の電極間に間歇的に一定値の主直流電流を通ずると同時に該電流の停止せる時間中無線又は有線に依り測定者に交流電壓を與ふることに依り測定者は該交流を搬送波とし之に測定せんとする表面上の電位差を重疊せしめ適當なる方法にて變調, 增幅せる後其の出力を整流して得たる直流電流を直流計器にて指示若くは記録せしむることに依り主直流電流の停止時に於ける表面上の電位差分布を選択測定し其の電位分布狀況を圖示することに依り大地中に埋藏されたる鑛石體, 礦油層等の位置並に分布狀況等を探知せんとする電氣探鑛法

**微分法に依る電氣的地質調査法** (14年特許公告第 2226 號, 公告 14-5-15, 東京市, 逓信大臣) 測定確度及感度の異なる電氣的地質調査表を提供する目的を以て調査せんとする地域に接地せる送

電々極を通して互に僅かに相違する大地内電流分布を與ふる如き2種の送電々流を交互に大地内に流し之等の送電々流に對應して生ずる地表面上の電壓測定用電極間の電位差の變化を求め之と電極相互間の關係位置とより地表面よりの深さに對する地層の等価抵抗の微係數を測定することに依り各地層の厚さ及び種類等を推定すべくせることを特徴とする微分法に依る電氣的地質調査方法。

**電弧熔接棒** (14年特許公告第 2233 號, 公告 14-5-15, 神戸市, 田村元治) 電弧の安定度熔融鋼或は鐵の冶金化學的淨化性及び適當なる熔徹を有し然も熔着鋼は有用元素合金せらるべき優秀にして安價なる電弧熔接棒を提供せんとする目的を以て適當なる熱處理を施したる軟鋼棒の表面に炭酸アルカリ 5~15%, アルカリ土金屬の炭酸鹽 22~40%, 珪酸アルミニウム 5~15%, 硼砂 15~40%, 炭素末 5~30%, 二酸化マンガン 15~30%, 酸化クロム 10~20%, 酸化ニッケル 2~10% を混和し水を加へ練合したる熔劑を塗着乾燥して成る電弧熔接棒。

**電極其他炭素製品の成形方法** (14年特許公告第 2235 號, 公告 14-5-15, 東京市, 溪照親) 第1工程に於て各原料並に接合材に成形を必要なる粘着劑を容易且均一に附着せしめ第2工程に於て此等原料を混合捏合することに依り各原料の結合を均一且強固ならしめて崩壊の虞なき良質電極又は炭素製品を容易に成形せんとする目的を以て2種或は2種以上の原料或は之等原料と接合材を用ひて電極或は其他の炭素製品を成形する方法に於て第1工程として各原料及び接合材を各別々に粘着劑と共に捏合せたる後第2工程に於て此等原料を混合して更に捏合せたる後之を成形することを特徴とする電極並に其他炭素製品の製造方法。

番號	名 稱	權利者名	公告拔萃
129243	マグネシウムの熱的製造法	イーゲー、フアルベンイン オストロークテュエンゲ ルンヤフト	第24年第1號
129278	マグネシウム及マグネシウムに富める合金類を熔融及鑄造する方法	日本マグネシウム 金屬株式會社	第25年1號
129286	通信特に電話設備の共同線に對する接續装置	シーメンス、ウント、ハル ステック、クア、ゲゼル シャフト	なし
129304	アルミニウム合金	日本火工株式會社	第24年7號
129306	砂鐵より製鐵原料の製造法	田 島 六 郎	第24年12號
129309	炭化物の混合結晶と補助金屬とを含有する特に工具其他工作用硬合金の製造法	エヌ、ヴィ、モリ ブデナム、コンパ ニー	第24年11號
129316	高熱電氣爐の構成方法	高 柳 健 治	〃
129355	合 金 鋼	ユウ、エス、ラストレス、 スチール、エンドアイヤン、 コーポレイション	〃
129365	洗炭廢水より石炭を回收する方法	堂 本 爲 廣	なし
129409	變壓器又はダイナモに使用する薄鋼板を製作する爲に珪素鋼に常溫壓延及處理を施す方法	ゼ、コールド、メ タル、プロセス、 カンパニー	第25年1號
129426	表面の一部又は全部に滲炭を施せる肉薄鋼板の製造法	株式會社 日 本 製 鋼 所	〃
129430	浮 游 選 鑛 機	エドワード、エツチ、ホーグ	第24年10號
129431	炭素電極製造法	渡 邊 友 吉	第25年2號
129474	粉 末 錫 集 結 法	三菱鑛業株式會社	〃
129459	縱軸の周りに廻轉する廻轉トロメル	メタルゲゼルシャフト、 アクテングゼルシャフト	〃
129516	壓延薄鐵板燒鈍函	佐々木くら	第25年1號
129529	浮游選鑛装置に於ける流出樋	長 谷 川 義 勝	第24年12號
129565	不粘結炭又は弱粘結炭を原料とする炭炭の製造方法	日 置 雅 章	第24年12號
129638	固形燃料の製造法	田 住 隆 二	なし